

平成 24 年度大阪府公立高等学校入学者選抜学力検査
(後期入学者選抜全日制の課程) における
府立高等学校合格者の学力実態調査

平成24年度府立高等学校（後期入学者選抜全日制の課程）合格者の学力実態調査

1 調査目的

本調査は、府立高等学校入学者の学力の実態を把握し、府立高等学校における教科指導の充実を図るとともに、中学校における教科指導及び進路指導の一助となる基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査内容

- (1) 本年度の府立高等学校後期入学者選抜全日制の課程普通科及び普通科総合選択制の合格者を母集団とする無作為抽出標本調査としました。母集団を調査書中の各評定に学校選択の倍率をかけて算出した合計により5段階に層化し、各層より標本を抽出しました。標本数は700としました。
- (2) 学力検査実施教科である国語，社会，数学，理科，英語の全問題の各得点と一部問題の解答状況を調査しました。調査結果については以下の項目にまとめました。
 - ・各問題の配点に対する平均得点の割合（以下「得点率」という。）
 - ・各問題（数学・英語については共通問題のみ）における調査書中の評定の段階別得点率
 - ・各問題において解答が記載されていないものの割合（以下「無答率」という。）
 - ・一部問題の解答状況の分析等

3 その他

平成24年度大阪府公立高等学校後期入学者選抜の問題等は、下記のwebページに平成25年3月まで掲載しています。

- ・大阪府教育委員会事務局 教育振興室高等学校課 学事グループ
(http://www.pref.osaka.jp/kotogakko/gakuji-g3/h24_kouki.html)

〈参考〉

公立高等学校（後期入学者選抜全日制の課程）合格者の教科別平均点

| 選抜年度 | 国語 | 社会 | 数学A | 数学B | 理科 | 英語A | 英語B |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平成24年度 | 51.3 | 63.1 | 37.4 | 43.6 | 48.8 | 47.5 | 61.4 |
| 平成23年度 | 63.1 | 55.0 | 36.4 | 43.6 | 55.3 | 53.9 | 73.0 |
| 平成22年度 | 63.3 | 64.3 | 40.9 | 54.3 | 49.0 | 48.6 | 62.2 |

※平均点は、100点満点に換算した点となっています。

※数学及び英語は、それぞれA，Bのうちからの学校選択となっています。

国 語

| | 問題番号 | 内 容 | 得 点 率 (%) | | | 無答率 (%) | | |
|----|------|--------------------------|--------------|--|-------|---------|------|------|
| | | | 全体 | 評定段階別 | | | | |
| | | | | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ■ 評定10,9,8 ■ 評定7,6,5 ■ 評定4,3,2,1 </div> | | | | |
| | | | | 0 20 40 60 80 100 | | | | |
| 語彙 | 一 | 漢字の読み | ㊦ 促されて | 60.3 | 93.5 | 54.7 | 17.9 | 4.1 |
| | | | ㊧ 承知 | 98.1 | 100.0 | 98.9 | 92.7 | 0.4 |
| | | | ㊨ 証拠 | 97.7 | 100.0 | 98.1 | 92.7 | 0.3 |
| 語彙 | 2 | 語句の意味 (記号選択) | 53.6 | 58.5 | 51.4 | 51.2 | 0.0 | |
| 表現 | 3 | 内容把握と表現 (記述) | 17.9 | 34.5 | 10.3 | 11.1 | 12.1 | |
| 読解 | 4 | 適語補充 (抜き出し) | 77.5 | 93.4 | 78.9 | 45.3 | 1.0 | |
| 読解 | 5 | 内容把握 (記号選択) | 60.4 | 68.7 | 59.4 | 48.8 | 0.1 | |
| 読解 | 二 | 1 | 適語補充 (記号選択) | 89.3 | 94.0 | 90.0 | 78.9 | 0.0 |
| 読解 | | 2 | 内容把握 (記号選択) | 58.4 | 75.6 | 53.3 | 43.1 | 0.6 |
| 読解 | | 3 | 語句の解釈 (記号選択) | 68.6 | 85.3 | 66.4 | 45.5 | 0.6 |
| 表現 | | 4 | 内容把握と表現 (記述) | 19.1 | 39.4 | 12.7 | 2.3 | 27.3 |
| 語彙 | 三 | 漢字の読み | ㊦ 惜別 | 28.7 | 60.8 | 18.6 | 1.6 | 3.7 |
| | | | ㊧ 克明 | 72.4 | 89.9 | 71.1 | 45.5 | 1.1 |
| | | | ㊨ 属して | 98.0 | 100.0 | 99.4 | 90.2 | 0.6 |
| 文法 | 2 | 読解にかかわる文法 (記号選択) | 56.0 | 71.9 | 50.3 | 44.7 | 0.1 | |
| 読解 | 3 | 内容把握 (抜き出し) | 65.9 | 87.6 | 66.3 | 26.6 | 2.4 | |
| 表現 | 4 | I 内容把握と表現 (記述) | 57.0 | 75.3 | 57.5 | 23.2 | 13.4 | |
| 表現 | | II 内容把握と表現 (記述) | 19.5 | 33.5 | 15.9 | 5.6 | 19.4 | |
| 読解 | 5 | 内容把握 (抜き出し) | 58.3 | 87.1 | 55.6 | 15.2 | 11.0 | |
| 読解 | 6 | 適語補充 (記号選択) | 69.4 | 73.3 | 66.7 | 70.7 | 1.1 | |
| 語彙 | 四 | 漢字の書き取り | (1) 囲まれて | 96.3 | 98.6 | 96.9 | 90.2 | 1.4 |
| | | | (2) 可能 | 85.9 | 95.9 | 85.0 | 70.7 | 3.6 |
| | | | (3) 貯蔵 | 53.3 | 87.1 | 47.5 | 10.6 | 11.6 |
| | | | (4) 栄えた | 63.0 | 80.2 | 62.8 | 33.3 | 12.4 |
| | | | (5) 省略 | 64.3 | 89.4 | 61.7 | 27.6 | 7.9 |
| | | | (6) 発揮 | 58.6 | 80.6 | 54.7 | 30.9 | 4.4 |
| 作文 | 五 | 「宇宙から思い浮かべることほとそれを選んだ理由」 | 44.4 | 49.9 | 46.4 | 29.1 | 1.4 | |

[ねらい]

中学校修了までに学習する基礎的・基本的な事項を問うとともに、学習指導要領の趣旨に沿って、理解力・思考力・表現力を問いました。また、作文は受検者の個性豊かなとらえ方や多様な発想が反映できるものにするとともに、条件を付けることによって、論理的に自分の考えを表現する力をみることができるように工夫しました。

[概 評]

全体としては、次のような傾向がみられます。

- ・文章を記述する問題においては、設問の意図を正しく読み取る力と、求められている内容を適切に表現する力が必要です。これらの力が不足しているため、問題に対して答えるべき内容が的確にとらえられていない解答や、必要な内容が欠けている解答がみられます。本文に書かれている内容を正しく理解した上で、本文から必要な情報を取り出し、与えられた条件にしたがって的確に表現することが大切です。
- ・古文分野において、内容把握に関する記述問題は低い得点率になっています。本文の構成や展開を正確にとらえ、書かれている内容を理解することが大切です。
- ・文章を記述する問題や作文において、漢字や語句を適切に用いる力が不足していると考えられる解答がみられます。文意の通らない解答も多くみられます。文章を書くときには、漢字や語句の知識を活用することとともに、書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることが大切です。

以上のことから、言語事項に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、文章の展開を正確にとらえて理解する力、問われていることの内容を理解する力、読み取った内容をまとめて適切に表現する力を身に付けることが重要です。国語力は、日常生活の中でも培われていくものです。普段からさまざまな文章に親しむとともに、文章を書くときには、書いた文章を読み返し、文や文章の形を整えることを心掛けることが大切です。

[解答状況の分析等]

【一について】

人それぞれの思いかたの違いについて述べられた文章を素材とした問題です。2は副詞に関する問題です。「いささか」の意味を「かなり」としている誤答が全体の35.3%ありました。文脈の中における語句の意味を正確にとらえることが大切です。3は本文の内容を読み取った上で、必要な内容を条件にしたがってまとめる問題です。答えるべき内容が的確にとらえられていない解答が多く、得点率は17.9%となっています。設問の意図を正しく読み取り、求められている内容を適切に表現する力を身に付けることが大切です。

【二について】

人間の記憶の不思議さについて述べられた文章(古文)を素材とした問題です。2は動作を行っている人物を正しく把握する問題です。得点率は58.4%となっています。4は本文中に述べられている二つのことがらの内容を対比させて、与えられた形式にあてはめてまとめる問題です。得点率は19.1%と低く、無答率は27.3%とすべての問題の中で最も高くなっています。登場人物や会話の内容などに注意し、書かれている内容を正しく把握しながら読むことができるよう、古典への関心を深め、古文を理解する基礎を身に付けることが大切です。

【三について】

特定の植物を観察することについて述べられた文章を素材とした問題です。4は「私たちと自然とのつきあい」について述べられている内容を読み取り、適切にまとめる問題です。文脈を正しく理解した上で、必要な情報を取り出し、与えられた形式に合うように表現する力が必要です。Iの得点率は57.0%、無答率は13.4%となっています。IIの得点率は19.5%、無答率は19.4%となっています。文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約する力を身に付けることが大切です。

【四について】

漢字の書き取り問題です。(4)は「栄」を「盛」としている誤答が全体の14.7%、(6)は「揮」を「輝」としている誤答が全体の20.4%ありました。(3)は得点率が53.3%と書き取り問題の中では最も低く、無答率も高くなっています。点画の一つ一つに注意するとともに、同音の漢字や形の似た漢字を文や文章の中で確実に使うことができるようにすることが大切です。

【五について】

「宇宙」に対して持つイメージを表すことばとそのことばを選んだ理由をあわせて述べるという条件にしたがって、「『宇宙』ということばから思い浮かべること」について述べる問題です。無答率は低く、総じて「書く」ことへの意欲はあると考えられます。「無限」「広大」などのことばを、「宇宙」に対して持つイメージとして選んだ解答が全体の約30%ありました。また、条件にしたがっていない作文が全体の12.1%ありました。表記の面では、誤字、脱字や原稿用紙の使い方の誤りがみられます。正しい表記を心掛けることが大切です。

社 会

| | 問題番号 | 内 容 | 全体 | 得 点 率 (%) | | | 無答率 (%) | | | | |
|------------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------|-----------|------|------|---------|----|------|------|------|
| | | | | 評定段階別 | | | | | | | |
| | | | | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 | | |
| わが国と海外とのかかわり | 1 | ① (a)枕草子 (記号選択) | 85.0 | 99.1 | 88.4 | 54.0 | | | | 0.0 | |
| | | | 70.6 | 86.6 | 67.4 | 52.5 | | | | 0.1 | |
| | | ② 大宝律令 | 57.6 | 89.7 | 57.7 | 5.5 | | | | 12.3 | |
| | | ③ 空海 (記号選択) | 67.9 | 94.6 | 65.3 | 30.9 | | | | 0.1 | |
| | | ④ 宋 (記号選択) | 69.1 | 99.1 | 70.0 | 18.7 | | | | 0.0 | |
| | | ⑤ (a)14世紀の日本のようす (並べ替え) | 41.1 | 71.4 | 31.2 | 16.5 | | | | 0.1 | |
| | | | (b)勘合 | 70.4 | 98.2 | 75.5 | 13.2 | | | | 8.7 |
| | (2) | ① マドリードの位置 (記号選択) | 59.4 | 89.7 | 55.5 | 20.1 | | | | 1.3 | |
| | | ② (a)時差 | 52.3 | 89.7 | 46.9 | 5.0 | | | | 8.1 | |
| | | | (b)地中海の気候 (記号選択) | 67.6 | 83.9 | 67.1 | 42.4 | | | | 0.4 |
| | | ③ 16世紀後半の日本のようす (記号選択) | 44.1 | 79.5 | 30.6 | 20.1 | | | | 0.4 | |
| | | (3) | ① 通信使 | 57.8 | 93.3 | 55.6 | 6.0 | | | | 13.4 |
| | ② 杉田玄白 (記号選択) | | 92.7 | 100.0 | 97.0 | 70.5 | | | | 0.3 | |
| | (4) | ① A福岡県 | 72.0 | 99.6 | 70.9 | 30.2 | | | | 3.6 | |
| | | | B佐賀県 | 60.0 | 93.9 | 57.6 | 11.5 | | | | 4.6 |
| | | ② しょうゆの輸出と小麦・大豆の輸入 (正誤判定) | 58.9 | 82.1 | 53.4 | 34.5 | | | | 0.3 | |
| | 国際博覧会 | (1) | 19世紀の世界のようす (記号選択) | 49.3 | 85.7 | 37.1 | 20.1 | | | | 0.0 |
| | | | ① 板垣退助 (記号選択) | 74.9 | 97.8 | 72.1 | 44.6 | | | | 0.1 |
| | | ② (a)通常国会 | | 75.1 | 97.3 | 81.7 | 23.5 | | | | 7.6 |
| | | | (b)衆議院 (記号選択) | 64.0 | 92.9 | 57.0 | 34.5 | | | | 0.3 |
| (c)内閣の権能 (記号選択) | | | 65.6 | 79.9 | 64.1 | 46.0 | | | | 0.1 | |
| (3) 1970年代のできごと (記号選択) | | 21.1 | 46.9 | 9.2 | 8.6 | | | | 0.4 | | |
| (4) 新しい人権 (記号選択) | | 74.4 | 95.5 | 76.9 | 34.5 | | | | 0.1 | | |
| (5) EU | | 88.2 | 98.2 | 94.2 | 57.6 | | | | 4.1 | | |
| 為替相場 | (1) | ① (a) ⑥ 円高 (記号選択) | 51.6 | 84.8 | 43.0 | 18.7 | | | | 0.1 | |
| | | ② (c) 為替相場の変動と市場 (記号選択) | 56.6 | 83.5 | 55.2 | 16.8 | | | | 4.6 | |
| | (2) (d) 市場のはたらき (記号選択) | 81.9 | 94.6 | 79.8 | 66.2 | | | | 0.4 | | |
| | (3) (e) 海外生産台数と輸出台数の増減 (記述) | 64.1 | 90.2 | 64.6 | 21.1 | | | | 10.0 | | |
| | | (f) 海外生産台数と輸出台数の特徴 (記述) | 63.4 | 90.5 | 62.7 | 21.3 | | | | 11.0 | |

[ねらい]

大問は3問構成とし、それぞれのテーマに関連付けながら、学習すべき内容を総合的に問えるよう、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の融合を図りました。テーマにかかわる事象について、多面的・多角的に考察することができるようにしました。表やグラフなどをもとにした問題では、資料から目的に応じて必要な情報を取り出す力、その情報と知識を結び付けて理解し、適切に表現する力を問いました。

[概 評]

基礎的な事項に関する問題は、歴史的分野の1(1)①(a)、1(3)②、公民的分野の2(5)、3(2)などにおいて得点率が高くなっています。用語などを記述する問題は、歴史的分野の1(1)②、1(3)①において無答率が高くなっています。**教科書に記載されている用語の意味や内容を正しく理解するとともに、正確に書くことができるようにすることが大切です。**また、歴史的分野の1(1)⑤(a)、1(2)③、2(1)、2(3)は、歴史的事象を年代順に並べ替えたり、各時代の特色を問う問題です。いずれも得点率が50%を下回っており、2(3)の得点率は全設問中で最も低い21.1%となっています。**学習した内容を活用して時代を大観し、各時代の特色をとらえることが大切です。**

[解答状況の分析等]

[知識・理解をみる問題について]

1(4)①は、資料や地図などをもとに、福岡県と佐賀県の位置を問う問題です。誤答のうち、九州に位置する県を答えたのはAで全体の7.3%、Bで全体の12.4%でした。**地図を有効に活用するなどして、都道府県の名称と位置について繰り返し学習する機会をもつことが大切です。**

3(1)①は、為替相場の推移を表したグラフをもとにして、円とドルとの交換比率や、「円高」についての理解を問う問題です。円の価値が「下がる」ことを「円高」としている誤答が全体の24.9%となっています。また、グラフから円の価値が「下がる」と読み取り「円安」としている誤答が全体の18.0%となっています。**教科書に記載されている内容について、具体的事例を通して考察し理解していくことが大切です。**

| 設問 | 正 答 | 誤 答 |
|-----------|-----------------|--|
| 1(4) ① | A 福岡 (72.0%) | 九州地方に位置する県 (7.3%) 中部地方に位置する県 (4.3%) 東北地方に位置する県 (4.1%) その他 (4.6%) |
| | B 佐賀 (59.6%) | 九州地方に位置する県 (12.4%) 中部地方に位置する県 (5.9%) 東北地方に位置する県 (5.3%) その他 (6.7%) |

() は正答または誤答の割合

| 設問 | 正 答 | 誤 答 例 |
|-----------|------------------------------|------------------------|
| 3(1) ① | ①イ「上がる」 ①エ「円高」 (51.7%) | ②ア「下がる」 ②エ「円高」 (24.9%) |
| | | ③ア「下がる」 ③ウ「円安」 (18.0%) |
| | | ④イ「上がる」 ④ウ「円安」 (5.3%) |

() は正答または誤答の割合

[資料活用の技能や思考力・判断力・表現力をみる問題について]

1(4)②は、しょうゆ、大豆、小麦に関する資料から必要なデータを読み取り、二つの短文の内容について正誤を判定する問題です。**種々の資料から必要な情報を的確に読み取り、学習した内容をもとにして考察する力**が必要です。

3(3)③、④は、乗用車の台数の推移に関する資料から必要なデータを読み取り、読み取った内容について記述する問題です。資料と問題文から、③は「海外生産台数」と「輸出台数」のそれぞれの増減について、④は「海外生産台数」と「輸出台数」を比較した場合の特徴について読み取り、読み取った内容について記述する必要があります。得点率は、③が64.1%、④が63.4%であり、無答率は③が10.0%、④が11.0%と高くなっています。**問われている事項を的確に把握して、要点をおさえて適切に表現する力**が必要です。

数 学

| | 問題番号 | 内 容 | 得 点 率 (%) | | | | | 無答率 (%) | | | | |
|-----------------------|-----------------|------------------|--------------------|--------------------------------|---------------------|------|----|---------|-----|------|------|------|
| | | | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | | 100 | | | |
| A 選 択 問 題 | 基礎・基本の理解 | 1 | ① | 正の数・負の数 | 94.7 | | | | | | 0.3 | |
| | | | ② | 式の計算 | 87.7 | | | | | | 2.7 | |
| | | | ③ | 式の計算 | 81.9 | | | | | | 3.5 | |
| | | | ④ | 平方根の計算 | 87.5 | | | | | | 4.3 | |
| | | (2) | 一次方程式 | 54.1 | | | | | | 13.1 | | |
| | | (3) | 因数分解 | 84.4 | | | | | | 6.4 | | |
| | | (4) | 確率 | 42.5 | | | | | | 4.8 | | |
| | | (5) | 関数 $y = ax^2$ のグラフ | 66.0 | | | | | | 14.1 | | |
| | (6) | 代表値(記号選択) | 20.3 | | | | | | 0.8 | | | |
| | (7) | 反比例(記号選択) | 33.8 | | | | | | 1.6 | | | |
| | (8) | 標本調査・比例の利用(記号選択) | 10.1 | | | | | | 1.3 | | | |
| | 平面図形 | 2 | ① | 文字を使った式 | 40.8 | | | | | | 19.2 | |
| | | | ② | 線対称な図形(記号選択) | 77.4 | | | | | | 3.2 | |
| | | (2) | ① | 三角形の相似の証明(記述) | 42.1 | | | | | | 26.7 | |
| | | | ② | 線分の長さ・三平方の定理の利用(記述) | 10.2 | | | | | | 50.4 | |
| B 選 択 問 題 | 基礎・基本の理解 | 1 | (1) | 正の数・負の数 | 81.5 | | | | | | 0.3 | |
| | | | (2) | 式の計算 | 78.8 | | | | | | 0.0 | |
| | | | (3) | 平方根の計算 | 81.5 | | | | | | 0.3 | |
| | | | (4) | 二元一次方程式の解(記号選択) | 63.4 | | | | | | 0.9 | |
| | | | (5) | 確率 | 46.8 | | | | | | 3.1 | |
| | | | (6) | 関数 $y = ax^2$ のグラフ・文字を使った式(記述) | 38.6 | | | | | | 19.7 | |
| | 平面図形 | 2 | (1) | ① | 文字を使った式 | 60.5 | | | | | | 13.5 |
| | | | | ② | 三角形の相似の証明(記述) | 46.8 | | | | | | 9.5 |
| | | | | ③ | 三角形の面積・相似の利用 | 30.5 | | | | | | 22.5 |
| | | | (2) | ① | 線分の長さ・三平方の定理の利用(記述) | 5.6 | | | | | | 68.0 |
| ② | 線分の長さ・三角形の相似の利用 | | | 0.9 | | | | | | 70.2 | | |

| | 問題番号 | 内 容 | 全体 | 得 点 率 (%) | | | | | 無答率 (%) | | |
|------|------|-----|--------------|-------------------|------|----|----|----|---------|------|------|
| | | | | 評定段階別 | | | | | | | |
| | | | | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 | | |
| 共通問題 | 3 | (1) | 文字を使った式 | 50.2 | | | | | | 16.1 | |
| | | (2) | ① | 一次関数の表 | 66.0 | | | | | | 8.3 |
| | | | ② | 一次関数の式 | 57.2 | | | | | | 20.7 |
| | | (3) | 二次方程式・平方根の利用 | 11.4 | | | | | | 49.7 | |
| | 4 | (1) | ① | 文字を使った式・二等辺三角形の性質 | 45.0 | | | | | | 14.4 |
| | | | ② | 三平方の定理の利用・立体の体積 | 42.1 | | | | | | 21.0 |
| | | (2) | ① | 平行線と線分の比(記述) | 4.4 | | | | | | 64.0 |
| | | | ② | 線分の長さ・三角形の相似の利用 | 3.6 | | | | | | 60.3 |

[ねらい]

1では基礎・基本の理解を問い、2では二つの円(A選択問題)や、円と長方形(B選択問題)を題材として、図形の計量に関する力や論理的に考察して数学的に推論し表現する力を問いました。3では、厚紙から直方体をつくるようすを題材として、文字を用いて式に表現する力、関数関係を見だし表現し考察する力を問いました。4では、正四角すいを題材として、空間図形を的確に把握する力や図形の計量に関する力、数学的に推論し表現する力を問いました。

[概 評]

基礎的・基本的な内容に関する問題においては、基礎的な概念の理解や数学的に表現し処理する力について十分な点がみられます。数学的な見方や考え方を必要とする問題や論理的思考力・表現力が要求される問題では、得点率が低く無答率が高くなっています。まず、問題文の内容を正確に理解する力を身に付けることが必要です。その上で、問題を解決するに当たっては、単に答えを出すだけでなく、**答えに到達するまでの過程を論理立てて確実に表現することを大切にするとともに、そこで用いた考え方についてさらに振り返ってみる**学習が必要です。

[解答状況の分析等]

[A選択問題]

<基礎的・基本的な内容に関する問題について>

1(4)は、与えられた条件をもとにして確率を求める問題です。得点率は42.5%であり、「 $\frac{5}{18}$ 」としている誤答が全体の12.8%ありました。**確率についての理解を深めるとともに問題文の内容を正確に把握することが**大切です。

1(6)は、与えられたヒストグラムをもとにして中央値と最頻値を求める問題です。得点率は20.3%であり、「ウ」としている誤答が全体の62.4%ありました。これは、中央値の意味を正確に理解していないことによるものと考えられます。**ヒストグラムを作成することや、代表値を求めることにより、資料の傾向を読み取る力を身に付ける**ことが必要です。

1(8)は、与えられた条件から標本調査を利用して、袋の中にある白い石の個数を推定する問題です。得点率は10.1%であり、A選択問題の中で得点率が最も低くなっています。**母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向が読み取れることを理解することが**必要です。

〈数学的な見方や考え方を必要とする問題や求め方を記述する問題について〉

2は、二つの円を題材とし、平面図形における対称軸や線分の長さについて考察する問題です。(1)①は、円周の長さを求める問題です。得点率は40.8%であり、無答率は19.2%です。「 16π 」としている誤答が全体の20.3%ありました。**平面図形の性質についての理解を深め、図形の計量に関する力を身に付けることが大切です。**(2)①は、平行線と線分の比を利用して三角形の相似を証明する問題です。得点率は42.1%であり、無答率は26.7%です。(2)②は、三平方の定理を用いて、線分の長さを求める問題です。得点率は10.2%であり、無答率は50.4%です。A選択問題の中で無答率が最も高くなっています。**与えられた条件をもとにして、複数の図形の辺や線分の長さを数理的に考察する力が必要です。**

〔B選択問題〕

〈基礎的・基本的な内容に関する問題について〉

1(5)は、与えられた条件をもとにして確率を求める問題です。得点率は46.8%であり、「 $\frac{1}{6}$ 」としている誤答が全体の14.8%ありました。これは、約数の意味を十分に理解していないことによるものと考えられます。**確率についての理解を深めるとともに数の概念についての理解を深めることが大切です。**

1(6)は、関数のグラフ上の点について、与えられた条件をもとにして文字を用いて式に表現し一次方程式を解くとともに、その求め方を明確に表現する問題です。得点率は、38.6%であり、無答率は19.7%です。**関数 $y = ax^2$ のグラフや反比例のグラフの特徴を十分に理解するとともに、与えられた条件を把握し、考察の過程を的確に表現することが大切です。**

〈数学的な見方や考え方を必要とする問題や求め方を記述する問題について〉

2は、円と長方形を題材とし、平面図形における線分の長さや三角形の面積について考察する問題です。(1)②は、三角形の相似を証明する問題です。得点率は46.8%であり、無答率は9.5%です。 $\angle ABG$ と $\angle RFO$ が等しいことだけを示している解答が全体の48.6%ありました。**仮定と結論を明確にして論理的に説明する力が必要です。**(2)①は、三平方の定理等を用いて、線分の長さを求める問題です。得点率は、5.6%であり、無答率は68.0%です。**図形の特徴を的確に把握し、見通しをもって適切な補助線を引き、筋道を立てて事象を数理的に考察する力が必要です。**(2)②は、三角形の相似を利用して、線分の長さを求める問題です。得点率は0.9%であり、無答率は70.2%です。B選択問題の中で得点率が最も低く、無答率が最も高くなっています。**平面図形の性質や条件を考察し、図形についての理解を深めるとともに、論理的な思考力を身に付けることが大切です。**

〔共通問題〕

3は、厚紙から直方体をつくるようすを題材として、つくられた直方体における辺の長さの関数関係を考察する問題です。(2)②は関数関係を表す式を求める問題です。得点率は57.2%であり、無答率は20.7%です。**二つの数量を取り出し、それらの間にある関係を的確に把握し、その関係を文字を用いた式で表現する力を身に付けることが大切です。**(3)は、与えられた条件をもとにして、辺の長さを求める問題です。得点率は11.4%であり、無答率は49.7%です。**与えられた条件を文字を用いて表現し、方程式を活用する力を身に付けることが必要です。**

4は、正四角すいを題材として、空間図形における線分の長さや体積等について考察する問題です。(1)②は、三平方の定理等を用いて正四角すいの体積を求める問題です。得点率は42.1%であり、無答率は21.0%です。**空間図形についての理解を深め、図形の計量に関する力を身に付けることが大切です。**(2)は、平行線と線分の比を利用する問題です。①は二つの線分の長さが等しいことを証明する問題であり、得点率は4.4%、無答率は64.0%です。②は与えられた条件をもとにして線分の長さを求める問題であり、得点率は3.6%、無答率は60.3%です。①、②ともに得点率は低く、無答率は高くなっています。**与えられた条件をもとにして、空間図形の必要な部分を平面上に表現し、その平面図形のもつ性質を的確に把握する力が必要です。**

理 科

| | 問題番号 | 内 容 | 全体 | 得 点 率 (%) | | | 無答率 (%) | | | |
|------------|---------------------------|-------------------------|----------------------|-----------|------|------|---------|----|------|------|
| | | | | 評定段階別 | | | | | | |
| | | | | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 | |
| 遺伝の規則性と遺伝子 | 1 | (1) ① 離弁花類に共通する特徴(記号選択) | 53.8 | 65.2 | 55.4 | 31.0 | | | | 0.0 |
| | | (1) ② 双子葉類のなかま(記号選択) | 52.0 | 82.6 | 49.5 | 10.1 | | | | 0.1 |
| | | (1) ③ 被子植物のなかま(記号選択) | 61.3 | 84.1 | 60.7 | 26.4 | | | | 0.3 |
| | (2) | まるい種子をつくる純系の自家受粉(記号選択) | 50.1 | 92.3 | 41.8 | 6.2 | | | | 0.1 |
| | (3) | ① エンドウの交配実験(記号選択) | 76.3 | 95.7 | 79.7 | 35.7 | | | | 0.1 |
| | | ② 交配実験の遺伝子による説明 | 61.1 | 91.2 | 61.4 | 12.0 | | | | 6.1 |
| | (4) | ① 遺伝子を含む構造 | 66.6 | 94.0 | 68.5 | 17.1 | | | | 6.4 |
| | | ② 遺伝子の本体 | 70.0 | 99.0 | 70.3 | 22.5 | | | | 6.6 |
| 運動とエネルギー | (1) | ① 位置・運動エネルギーの増減(記号選択) | 65.3 | 93.2 | 68.7 | 10.9 | | | | 0.3 |
| | | ② (i)一定の速さで運動する小球の速さ | 29.4 | 69.6 | 16.5 | 1.6 | | | | 9.3 |
| | | | (ii)一定の速さになる理由(記号選択) | 55.4 | 87.9 | 45.6 | 31.0 | | | |
| | (1) ③ 運動エネルギーの大小と速さ(記号選択) | 42.1 | 57.0 | 36.0 | 35.7 | | | | 0.7 | |
| | (2) | ① 小球にはたらく重力の大きさ | 67.3 | 95.2 | 70.9 | 12.4 | | | | 6.9 |
| | | ② 仕事の原理(記号選択) | 65.4 | 92.8 | 61.0 | 34.1 | | | | 1.4 |
| | (2) ③ 仕事率 | 20.4 | 52.7 | 9.3 | 0.0 | | | | 11.0 | |
| 気象とその変化 | (1) | ①② 高気圧付近の気流と天気(記号選択) | 68.1 | 98.1 | 67.6 | 21.3 | | | | 0.0 |
| | | ① 寒冷前線 | 72.1 | 90.1 | 76.2 | 31.4 | | | | 5.1 |
| | (2) | ②③ 寒冷前線付近の天気(記号選択) | 71.2 | 97.6 | 66.0 | 43.4 | | | | 0.3 |
| | (3) | 前線通過時の気象変化(記号選択・記述) | 54.9 | 72.7 | 53.5 | 30.0 | | | | 2.6 |
| | (4) | ①② 水蒸気量, 露点(②は記号選択) | 39.0 | 84.7 | 25.8 | 3.3 | | | | 2.1 |
| | | ③ 露点と水蒸気量の関係(記号選択) | 44.9 | 63.8 | 37.4 | 35.7 | | | | 1.1 |
| (5) | 日本の春秋の天気の特徴(記述) | 29.1 | 55.2 | 23.0 | 4.4 | | | | 15.3 | |
| 身のまわりの物質 | (1) | 沸騰石のはたらき(記述) | 57.5 | 72.5 | 63.7 | 15.8 | | | | 5.9 |
| | | 気体を液体にする水のはたらき(記述) | 27.3 | 57.5 | 19.3 | 1.6 | | | | 18.0 |
| | (3) | エタノールの密度 | 23.1 | 64.7 | 7.7 | 0.0 | | | | 27.4 |
| | (4) | ガスバーナーの基礎操作(記号選択) | 58.9 | 80.2 | 54.9 | 35.7 | | | | 0.3 |
| | (5) | ①② 状態変化する温度と沸点(記号選択) | 62.7 | 96.1 | 56.1 | 27.4 | | | | 0.4 |
| | (6) | ① ろ過と水溶液の濃度(記号選択) | 25.4 | 34.8 | 19.8 | 26.4 | | | | 0.9 |
| ② 食塩の溶解度 | | 3.7 | 12.6 | 0.0 | 0.0 | | | | 21.6 | |

[ねらい]

身近な自然の事物・現象を題材として取り上げ、中学校で学習する基礎的・基本的な事項についての理解を問うとともに、観察・実験に基づく科学的な思考力・表現力を問いました。

[概 評]

基礎的・基本的な事項に関する問題についてはおおむね高い得点率になっています。一方、科学的な思考力・表現力を要する問題では得点率が低くなっています。観察・実験を通して基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、学習内容と実社会や実生活でみられる事物・現象とを関連付けて考えることにより、科学的な見方や考え方を身に付けることが大切です。

[解答状況の分析等]

[1について]

エンドウの観察を題材にして、植物の分類や遺伝の規則性について問う問題です。(1)③は被子植物のなかまを選ぶ問題で、「ア ウ」と解答すべきところ、「ア イ ウ」としている誤答が全体の17.7%ありました。(2)はまるい種子をつくる純系のエンドウの自家受粉に関する問題で、まるい種子の割合は集めた種子全体の「ウ 75%」としている誤答が全体の37.0%ありました。

種子植物の体にはいろいろな特徴があり、その特徴に基づいて分類できることや、交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を理解することが大切です。

[2について]

小球の運動やエネルギーに関する実験と、小球を引き上げる時の仕事を題材にした問題です。(1)②(i)は一定の速さで運動する小球の速さを求める問題で、得点率は29.4%と低くなっています。(2)③は動滑車を用いて小球を引き上げる時の仕事率を求める問題で、得点率は20.4%と低く、無答率は11.0%と高くなっています。

運動とエネルギーについて、実験の結果を分析して解釈する力を身に付けることが大切です。また、仕事と仕事率について、日常の体験などとも関連させながら理解することが大切です。

[3について]

天気図や気象観測のデータを題材にした問題です。(4)①②は湿度から水蒸気量や露点を求める問題で、得点率は39.0%と低くなっています。(4)③は露点と水蒸気量との関係に関する問題で、露点の変化に直接関係のない「ア」「ウ」としている誤答を合わせると全体の40.9%ありました。また、(5)は日本の春秋の天気の特徴に関して説明する問題で、得点率は29.1%と低く、無答率は15.3%と高くなっています。

湿度や露点について理解することや、日本の気象の特徴について日本付近の大気の動きに関連付けてとらえることが大切です。また、観測結果などを分析して解釈し表現する力を身に付けることが大切です。

[4について]

水とエタノールの混合物からエタノールを分離する実験と、食塩水の水を蒸発させることにより結晶を取り出す実験を題材にした問題です。(3)はエタノールの密度を求める問題で、得点率は23.1%と低く、無答率は27.4%と高くなっています。(4)はガスバーナーの基本的な操作方法を問う問題で、得点率は58.9%となっています。また、(6)②は実験の結果をもとにして食塩の溶解度を求める問題で、得点率は3.7%と低くなっています。

目的意識をもって実験を行い、実験器具の操作などの技能や、結果を分析して解釈する力を習得するとともに、化学的な事物・現象についての理解を深め、これらをもとに科学的な見方や考え方を身に付けることが大切です。

英 語

| | 問題番号 | 内 容 | 得 点 率 (%) | | | | | 無答率 (%) | | | |
|-----------------------|----------------|------|--------------|-------------|------|----|----|---------|-----|------|------|
| | | | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | | 100 | | |
| A 選 択 問 題 | 1 [I] 語彙 | ① | 83.7 | | | | | | 1.0 | | |
| | | ② | 82.9 | | | | | | 1.2 | | |
| | | ③ | 93.6 | | | | | | 1.2 | | |
| | | ④ | 91.0 | | | | | | 1.2 | | |
| | | ⑤ | 90.1 | | | | | | 1.2 | | |
| | 1 [II] 総合問題 | (1) | 内容把握 (記号選択) | 28.8 | | | | | | 0.2 | |
| | | (2) | 内容把握 (記号選択) | 61.9 | | | | | | 0.5 | |
| | | (3) | 表現 (英語記述) | 56.1 | | | | | | 2.4 | |
| | | (4) | 内容把握 (日本語記述) | 34.5 | | | | | | 25.2 | |
| | | (5) | ① | 英問英答 (英語記述) | 27.1 | | | | | | 17.9 |
| | | | ② | 英問英答 (英語記述) | 23.3 | | | | | | 33.8 |
| (6) | 内容把握 (記号選択) | 47.4 | | | | | | 1.0 | | | |
| B 選 択 問 題 | 1 総合問題 | (1) | 表現 (英語記述) | 18.9 | | | | | | 0.7 | |
| | | (2) | (a) | 内容把握 (記号選択) | 80.7 | | | | | | 0.4 |
| | | | (b) | 内容把握 (記号選択) | 81.1 | | | | | | 0.7 |
| | | | (c) | 内容把握 (記号選択) | 70.7 | | | | | | 2.9 |
| | | (3) | 内容把握 (日本語記述) | 81.1 | | | | | | 5.4 | |
| | | (4) | 内容把握 (記号選択) | 73.2 | | | | | | 0.7 | |
| | | (5) | 英作文 (英語記述) | 40.1 | | | | | | 18.2 | |
| | | (6) | 英作文 (英語記述) | 27.2 | | | | | | 17.1 | |
| (7) | 内容把握 (記号選択) | 65.5 | | | | | | 3.9 | | | |

[ねらい]

中学校で学習する基礎的・基本的な内容について、文章の内容を把握する力や自分の考えを英語で表現する力をみる問題を多く取り入れ、コミュニケーション能力育成の観点から言語活動における各領域の技能を総合的に問いました。

[概 評]

基本的な語彙や文法に関する問題の得点率は比較的高くなっています。一方、英文の内容を文脈に沿って把握して日本語で説明する問題や、与えられた日本語に合う英文を書く問題では得点率の低いものがみられます。また、英文全体の流れを把握しなければ解答できない記述問題において無答率が高くなっています。リスニングについては、筆答問題と比べるとおおむね高い得点率を示しています。

| | 問題番号 | 内 容 | 得 点 率 (%) | | | | 無答率 (%) | | | | |
|---------|------|-------------|--------------|-------------|------|------|---------|------|------|------|------|
| | | | 全体 | 評定段階別 | | | | | | | |
| | | | | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 | | |
| 共通問題 | 総合問題 | (1) | 表現 (記号選択) | 63.9 | 88.3 | 57.2 | 42.5 | | | 0.4 | |
| | | (2) | 表現 (英語記述) | 52.0 | 77.0 | 52.3 | 11.6 | | | 11.0 | |
| | | (3) | (a) | 内容把握 (記号選択) | 54.3 | 90.6 | 46.7 | 16.4 | | | 0.6 |
| | | | (b) | 内容把握 (記号選択) | 69.3 | 92.0 | 72.2 | 25.4 | | | 1.1 |
| | | (4) | 英作文 (英語記述) | 43.9 | 85.0 | 34.7 | 2.7 | | | 18.4 | |
| | | (5) | 表現 (英語記述) | 57.4 | 85.8 | 60.4 | 4.5 | | | 13.1 | |
| | | (6) | 内容把握 (日本語記述) | 28.3 | 66.3 | 15.6 | 1.1 | | | 31.4 | |
| | | (7) | i | 内容把握 (英語記述) | 35.3 | 79.8 | 21.2 | 1.5 | | | 7.4 |
| | | | ii | 内容把握 (英語記述) | 10.7 | 31.9 | 2.0 | 0.0 | | | 18.7 |
| | iii | | 内容把握 (英語記述) | 14.7 | 37.6 | 6.5 | 0.0 | | | 12.1 | |
| 英作文 | 3 | 英作文 (英語記述) | 26.3 | 37.1 | 26.3 | 9.0 | | | 13.3 | | |
| 共通リスニング | 1 | 内容把握 (記号選択) | 48.4 | 70.4 | 45.9 | 20.1 | | | 0.1 | | |
| | 2 | 内容把握 (記号選択) | 79.1 | 87.3 | 76.8 | 72.4 | | | 0.0 | | |
| | 3 | 内容把握 (記号選択) | 82.3 | 97.7 | 83.3 | 55.2 | | | 0.0 | | |
| | 4 | 内容把握 (記号選択) | 71.7 | 84.0 | 75.4 | 42.5 | | | 0.0 | | |
| | 5 | (1) | 内容把握 (記号選択) | 24.0 | 31.0 | 20.7 | 21.6 | | | 0.0 | |
| | | (2) | 内容把握 (記号選択) | 80.7 | 97.7 | 83.6 | 46.3 | | | 0.0 | |
| | 6 | (1) | 内容把握 (記号選択) | 41.3 | 65.7 | 35.7 | 17.2 | | | 0.1 | |
| | | (2) | 内容把握 (記号選択) | 39.7 | 64.8 | 31.2 | 22.4 | | | 0.0 | |

英語を学習する際に大切なことは、基本的な文法を理解した上で、基本的な語彙や表現を繰り返し書いたり暗唱したりすることです。さらに、学習した内容を実際のコミュニケーション活動において使うことができるようにするために、「聞く」「話す」「読む」「書く」という4領域をバランスよく学習し、特定の場面や状況に合った適切な表現を身に付けることが重要です。

[解答状況の分析等]

[A 選択問題について]

[I]の文法・語彙の選択問題の得点率は80%以上と高くなっています。[II] (1)の得点率は28.8%と低く、「ア」としている誤答が全体の37.6%ありました。動名詞の基本的な用法を正しく理解しておくことが大切です。

英問英答の問題である(5)①の得点率は27.1%であり、無答率は17.9%です。②の得点率は23.3%であり、無答率は33.8%です。A選択問題の中で得点率が最も低く、無答率が最も高くなっています。②については‘Who taught?’という、wh-疑問文の基本的な特徴とその応答の仕方を理解しておくことが大切です。英文の内容を正確に把握し、その内容についての英語の質問に対して適切に応答できるよう、**基本的な文法を理解し、語彙や表現を身に付けておくことが大切です。**

〔B選択問題について〕

英語記述問題である(1)の得点率は18.9%です。B選択問題の中で得点率が最も低く、‘in easier ways’としていない解答が多く見られました。英語の文構造や語法を理解するために、修飾関係などの特徴を理解しておくことが大切です。(5)の英作文の問題は、得点率が40.1%であり、無答率は18.2%です。B選択問題の中で無答率が最も高くなっています。英語で表現する際には、与えられた日本語の中から適切な英語の文構造を考え、語順や修飾関係などにおける英語と日本語との違いに留意し、それまでに学習した基本的な文法・語彙をもとにして英文を組み立てていくことが大切です。(6)の得点率は、27.2%であり、無答率は17.1%です。本文に書かれている内容を正しく理解した上で、与えられたテーマや条件にしたがって、自分の意見や主張を、**学習した文法・語彙をもとにして的確に英語で表現する力を身に付けることが大切です。**

〔共通問題について〕

英文の内容を文脈に沿って把握して日本語で説明する問題である(6)の得点率は28.3%、無答率は31.4%となっています。中心となる事柄など大切な部分をとらえて読み取るとともに、英語の文構造や語法を理解し、的確に日本語で表現することが必要です。本文を要約した英文の空所に適切な単語を補充する問題である(7)の得点率は、(ii)が10.7%、(iii)が14.7%です。無答率は(ii)が18.7%、(iii)が12.1%です。**全体の流れを把握し、その内容を別の表現を用いて言い換えるためには、学習した文法・語彙をもとにして、要点をとらえて的確に表現することが必要です。**

3の英作文は、まとまった内容の英文を書く問題であり、「アメリカにいる友人に、‘Happy Birthday’というメッセージを送る際、航空郵便またはEメールのどちらの方法で送るかを選び、その理由を30語程度の英語で書く」という問題です。得点率は26.3%、無答率は13.3%となっています。**内容的にまとまりのある一貫した文章を書くには、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことや、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことが大切です。**

〔リスニングについて〕

1の得点率は、48.4%となっています。「イ」としている誤答が全体の19.1%ありました。英語の語、句、文における基本的な強勢を適切に聞き取ることが大切です。5(1)の得点率は、24.0%となっています。「ウ」としている誤答が全体の46.4%ありました。6の得点率は、(1)が41.3%、(2)が39.7%となっています。まとまりのある英語を聞いて、その全体の概要や内容の要点を適切に聞き取る必要があります。

英語を聞き取る際には、**実際の場面を具体的に思い描き、話し手の意向などを正しく理解し、話の流れを把握することが大切です。**



大阪府教育センター 平成 24 年 7 月発行
〒558-0011 大阪市住吉区苅田 4 丁目 13 番 23 号 / TEL 06 (6692) 1882(代) FAX 06 (6692) 1898
URL <http://www.osaka-c.ed.jp>



大阪「こころの再生」府民運動